

「第56回構造工学シンポジウム」

土木部門プログラム

1. 主 催 — 日本学術会議 土木工学・建築学委員会, 日本建築学会, 土木学会
2. 開催日 — 2010年4月24日(土) - 25日(日)
3. 会 場 — 東京工業大学大岡山キャンパス西9号館
(〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1)
4. 参加費 — 無料, 参加自由
5. 懇親会の開催: 下記により懇親会を開催いたします。参加ご希望の方は受付にお申し込みください。
日時: 2010年4月24日(土) 18:30~20:00
場所: レストラン角笛 (東京工業大学百年記念館内)
会費: 5,000円程度を予定 (当日会場でお支払いください)
6. 開会式
日時: 2010年4月24日(土) 15:00~15:15
会場: 西9号館デジタル多目的ホール
挨拶: 濱田 政則 (早稲田大学, 日本学術会議土木工学・建築学委員会委員長)
挨拶: 杉浦 邦征 (京都大学, 土木学会構造工学論文集編集小委員会委員長)
司会: 山田 聖志 (豊橋技術科学大学, 日本建築学会構造工学論文集編集小委員会主査)
7. 特別講演会
日時: 2010年4月24日(土) 15:15~16:15
会場: 西9号館デジタル多目的ホール
講師: 和田 章 (東京工業大学)
題目: 「構造設計のあるべき姿」
司会: 山田 聖志 (豊橋技術科学大学, 日本建築学会構造工学論文集編集小委員会主査)
8. 土木・建築合同パネルディスカッション
「構造技術者が目指したい設計と, 法令や設計基準が求める設計」
日時: 2010年4月24日(土) 16:15~18:15
会場: 西9号館デジタル多目的ホール
主旨説明: 飛田 潤 (名古屋大学, 日本建築学会構造工学論文集編集小委員会幹事)
パネリスト: 石橋 忠良 (東日本旅客鉄道)
金田 勝徳 (構造計画プラスワン)
佐藤 尚次 (中央大学)
西山 功 (国土技術政策総合研究所)

司会：吹田 啓一郎（京都大学，日本建築学会構造工学論文集編集小委員会幹事）

松本 泰尚（埼玉大学，土木学会構造工学論文集小委員会幹事長）

9. 構造工学論文集 Vol.56A の販売

受付にて販売いたします。郵送も承ります。定価 6,000 円（送料別）

10. 問い合わせ先

土木学会研究事業課 増永克也

TEL: 03-3355-3559; FAX: 03-5379-0125; E-mail: masunaga@jsce.or.jp

土木部門プログラム

第1～4会場は西9号館3階

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
4月24日(土)	合成・複合構造 10:30～12:15 座長:本間淳史	橋梁床版(1) 9:35～10:50 座長:阿部忠	衝撃問題(1) 9:20～10:50 座長:榎谷浩	振動・振動制御(1) 9:50～10:50 座長:松本信之
		橋梁床版(2) 11:00～12:15 座長:岩崎正二	衝撃問題(2) 11:00～12:15 座長:藤掛一典	振動・振動制御(2) 11:00～12:00 座長:深田宰史
	休憩 12:15～13:30			
	設計工学 13:30～14:45 座長:長尾毅	橋梁床版(3) 13:30～14:45 座長:川井豊	流体関連振動・風工学 13:30～14:45 座長:木村吉郎	構造安定・耐荷力 13:30～14:45 座長:小野潔
	開会式(西9号館デジタル多目的ホール) 15:00～15:15			
	特別講演会(西9号館デジタル多目的ホール) 15:15～16:15			
	パネルディスカッション(西9号館デジタル多目的ホール) 16:15～18:15			
	懇親会(レストラン角笛) 18:30～20:00			
4月25日(日)	計算力学・材料力学 9:00～9:30 座長:岡澤重信	橋梁耐震(1) 9:00～10:30 座長:北原武嗣	維持管理(1) 9:00～10:30 座長:井ヶ瀬良則	構造力学・構造工学一般(1) 9:00～10:30 座長:末武義崇
	コンクリート構造・橋(1) 9:45～10:45 座長:細田暁			
	コンクリート構造・橋(2) 10:55～11:55 座長:牧剛史	橋梁耐震(2) 10:40～12:10 座長:葛漢彬	維持管理(2) 10:40～12:10 座長:大西弘志	構造力学・構造工学一般(2) 10:40～11:55 座長:水澤富作
	休憩 12:10～13:30			
	地震工学 13:30～14:00 座長:一井康二	橋梁制震・免震 13:30～15:15 座長:成行義文	維持管理(3) 13:30～15:00 座長:佐々木栄一	鋼, 木構造・橋 13:30～15:00 座長:平沢秀之
地中構造・基礎構造 14:15～15:15 座長:末政直晃				

第1日：4月24日（土）

第1会場：

10:30～12:15 合成・複合構造

座長：本間淳史（東日本高速道路）

- (13-1) ゴムラテックスモルタルを被覆した負曲げを受ける合成桁のずれ止めに関する実験的研究
上月隆史・棚橋明朗・○谷口望・碓山晴久・依田照彦
- (13-2) 曲げと軸力作用下におけるコンクリート充填箱形断面CFRP梁の変形および耐荷特性の解析的検討
○櫻庭浩樹・松本高志・林川俊郎・稲田裕・吉武謙二・杉山博一・後藤茂・石塚与志雄・鈴木研二・松井孝洋
- (13-3) プレストレスが導入されたCFRP板接着鋼部材のはく離曲げモーメント ○石川敏之
- (13-4) 連続中空合成床版橋の支承数削減に関する解析的検討 ○中村聖三・松本久幸・高橋和雄・熊野拓志・小島実
- (13-5) 鋼・コンクリート二重合成2主I桁橋のねじり挙動 ○山本真気・大山理・栗田章光
- (13-6) 突起付きH形鋼と充填コンクリートにより形成された鋼殻構造の損傷メカニズムと割裂ひび割れ発生荷重
○伊藤始・熊野拓志・上村明弘・白根勇二
- (13-7) プレキャスト床版連続合成桁の曲げひび割れ幅に関する実験 ○大城壮司・上條崇・奥井義昭・長井正嗣

第1日：4月24日（土）

第1会場：

13:30～14:45 設計工学

座長：長尾毅（国土技術政策総合研究所）

- (4-1) ゲーム理論（ナッシュ交渉解）による橋梁維持管理計画の基礎的研究 ○喜多敏春・近田康夫
- (4-2) 時系列を考慮したMSSによるRC橋脚の信頼性評価 ○白木渡・井面仁志・矢部俊輔・松島学
- (4-3) Memeticアルゴリズムによる中長期事業計画策定 中津功一朗・古田均・服部洋・○石橋健・小椋翔太
- (4-4) 性能設計における相関を有する波浪・風作用の組み合わせ方法に関する研究 ○長尾毅・吉岡健
- (4-5) ケーソン基礎のプッシュオーバー解析に用いる地震時慣性力の考え方に関する一考察
○坂井公俊・室野剛隆・西岡英俊

第1日：4月24日（土）

第2会場：

9:35～10:50 橋梁床版(1)

座長：阿部忠（日本大学）

- (16-1) シームレスジョイント付きRC床版の輪荷重走行疲労実験 ○関口幹夫・橋原正周・堀川都志雄
- (16-2) アルミニウム床版の移動トラックタイヤ載荷試験による疲労耐久性評価 大倉一郎・○長尾隆史・萩澤亘保
- (16-3) 積雪寒冷地の塩化物供給を考慮したRC床版寿命診断技術の提案 ○出戸秀明・岩崎正二・新銀武・丸山泰孝
- (16-4) 積雪寒冷地における既設RC床版の延命手法について ○三田村浩・佐藤京・西弘明・渡辺忠朋
- (16-5) 実橋における鋼床版SFRC舗装によるひずみ低減効果 ○児玉孝喜・一瀬八洋・加藤護・大田孝二・新延泰生

11:00～12:15 橋梁床版(2)

座長：岩崎正二（岩手大学）

- (16-6) 輪荷重走行疲労実験におけるRC床版SFRC上面増厚補強法の耐疲労性
○高野真希子・阿部忠・木田哲量・児玉孝喜・小森篤也
- (16-7) 輪荷重走行疲労実験におけるRC床版上面増厚補強法の耐疲労性の評価法
○阿部忠・木田哲量・高野真希子・小森篤也・児玉孝喜
- (16-8) ECCによる鋼床版上面増厚補強の合成効果に関する解析的検討 ○角間恒・松本高志・林川俊郎・何興文
- (16-9) 支持辺の任意領域で部分固定される多層版の数値解析 ○横山広・浦修造・関口幹夫・堀川都志雄
- (16-10) 走行振動応力履歴RC床版の塩害・凍害作用による劣化状態と耐荷力低下に関する研究
木田哲量・阿部忠・水口和彦・○大塚裕太・小川洋二

第1日：4月24日（土）

第2会場：

13:30～14:45 橋梁床版(3)

座長：川井豊（日本エンジニアリング）

- (16-11) 特殊な既設鋼床版の疲労損傷メカニズムと合成鋼床版化による疲労耐久性向上に関する研究
○古市亨・的場榮孝・服部雅史・大西弘志・松井繁之
- (16-12) 伸縮継手通過時の動的影響を考慮した RC 床版の設計曲げモーメント
○水口和彦・阿部忠・澤野利章・木田哲量・岩崎正二
- (16-13) サンドイッチ型複合床版の疲労耐久性に関する一考察
○上條崇・中川敏之・湯川雅之・阿部幸夫・長井正嗣
- (16-14) 鋼・コンクリート合成床版における接着接合継手の疲労耐久性評価
○吉田賢二・松井繁之・街道浩
- (16-15) Uリブ内面モルタル充填による既設鋼床版の疲労耐久性向上検討
○田畑晶子・青木康素・服部雅史・大西弘志・松井繁之

第1日：4月24日（土）

第3会場：

9:20～10:50 衝撃問題(1)

座長：榎谷浩（金沢大学）

- (15-1) 実物大重錘衝突実験による緩衝装置を用いたポケット式落石防護網の評価
○田島与典・前川幸次・岩崎征夫・河上康太
- (15-2) 敷砂緩衝材を設置しないRC製ロックシェット模型の耐衝撃挙動に関する重錘落下衝撃実験
○今野久志・岸徳光・栗橋祐介・山口悟・西弘明
- (15-3) 鋼管杭頭部にH形鋼を併用した落石防護擁壁の重錘衝突実験
○川瀬良司・岸徳光・西弘明・牛渡裕二・刈田圭一
- (15-4) 緩衝材用木材の圧潰特性に及ぼす温度（80℃以下）とひずみ速度の影響評価
○白井孝治・南波宏介・藤田佳之
- (15-5) 実規模RC桁の繰り返し重錘落下衝撃挙動解析に関する破壊エネルギー等価概念の適用性検討
○岸徳光・今野久志・三上浩
- (15-6) 敷砂緩衝材を有するRC製ロックシェット模型に関する衝撃載荷実験
○山口悟・岸徳光・今野久志・西弘明

11:00～12:15 衝撃問題(2)

座長：藤掛一典（防衛大学校）

- (15-7) 支持条件の異なるRC版の静的および衝撃荷重載荷実験
岸徳光・三上浩・栗橋祐介
- (15-8) SPH法を用いた衝撃解析の離散化程度および解析精度に関する基礎的研究
○深澤仁・園田佳巨・玉井宏樹
- (15-9) 小型RCラーメンスラブ模型の耐衝撃挙動に関する重錘落下衝撃実験と数値解析的検討
○川瀬良司・岸徳光・今野久志・牛渡裕二・鈴木健太郎
- (15-10) 鉄筋コンクリート構造物の発破解体に関する基礎的研究
イアムラオー ピーラサック・藤掛一典・大野友則
- (15-11) 先端形状が異なる衝突体の水平低速度衝突を受ける鉄筋コンクリート版の局部損傷メカニズムと評価法
三輪幸治・別府万寿博・大野友則

第1日：4月24日（土）

第3会場：

13:30～14:45 流体関連振動・風工学

座長：木村吉郎（九州工業大学）

- (9-1) 橋梁基本断面に作用する流体力と流速・波高の関係に関する基礎的検討
○中尾尚史・伊津野和行・小林紘士
- (9-2) 試作した風向変動風洞の特性と検討
木村吉郎・才木孝裕・中島紘志・加藤九州男・久保喜延
- (9-3) 着氷雪時の単導体・4導体送電線の定常空気力特性に関する研究
○松宮央登・清水幹夫・西原崇
- (9-4) 小スケール乱流相似による矩形断面周り流れの相似に関する研究
○勝地弘・山田均
- (9-5) 門崎高架橋耐風安定性の再検証
○楠原栄樹・福永勲・遠山直樹

第1日：4月24日（土）

第4会場：

9:50～10:50 振動・振動制御(1)

座長：松本信之（鉄道総合技術研究所）

- (5-1) 道路橋振動対策としての運動量交換型衝撃吸収ダンパーの研究
○長船寿一・中村俊一・水野恵一郎・加藤久雄・植田知孝

- (5-2) 道路橋交通振動におけるインターフェース関数を用いた走行車両の連成効果に関する検討
岡林隆敏・〇室井智文・下妻達也・奥松俊博
- (5-3) 神経振動子を組み込んだ歩道橋の動的応答解析に関する基礎的研究
〇米田昌弘
- (5-4) 端部分離した外ケーブル併用PC吊床版歩道橋の振動使用性
〇深田宰史・梶川康男・日出平洋一・河島淳一

11:00~12:00 振動・振動制御(2)

座長：深田宰史（金沢大学）

- (5-5) 高速カメラを用いた低周波振動源検出に関する検討
〇辻徳生・鍵村俊哉・由良慎弥・中村秀治
- (5-6) 舗装版切断機騒音に対する変形Y型遮音壁の遮音効果
〇比江島慎二・木村亮
- (5-7) 常時微動に基づく独立橋脚および橋梁完成系の振動特性の把握
〇中島章典・中野貴代美・中村晋
- (5-8) 高架橋における減衰設定法が橋梁全体系のモード減衰定数に及ぼす影響
〇横川英彰・中島章典

第1日：4月24日（土）

第4会場：

13:30~14:45 構造安定・耐荷力

座長：小野潔（東京工業大学）

- (2-1) 接合位置を考慮したアルミニウム合金板の圧縮耐荷力
〇大倉一郎・小笠原康二
- (2-2) 無補剛ステンレス鋼圧縮板の座屈照査法
〇宮崎靖大・奈良敬
- (2-3) 極厚フランジを有するプレートガーダーの変形能と断面区分
〇川見周平・藤井堅
- (2-4) まくらぎ下の上フランジに局部腐食を有する桁の残存耐荷力
〇中山太士・岡本章太・近藤拓也・藤井堅・松井繁之
- (2-5) 鋼製ラーメン橋脚T形隅角部の弾塑性挙動に関する研究
〇美島雄士・宮田亮・小野潔・西村宣男・三好崇夫

第2日：4月25日（日）

第1会場：

9:00~9:30 計算力学・材料力学

座長：岡澤重信（広島大学）

- (3-1) ハイブリッド型仮想仕事の原理による修正RBSMの開発
〇田尻康之・山村和人・竹内則雄
- (3-2) 地下空洞における吹付けコンクリートの乾燥収縮解析
松本康寿・〇吉田秀典

9:45~10:45 コンクリート構造・橋(1)

座長：細田暁（横浜国立大学）

- (12-1) 鉄筋・コンクリート間で付着のないRC梁部材の曲げ耐荷性状に関する実験的および解析的研究
〇村山八洲雄・津野将太郎・宇志呂裕一
- (12-2) ASRによる鉄筋損傷進展度に着目した大型供試体実験
〇草野昌夫・幸左賢二・合田寛基・増田隆宏
- (12-3) 鉄筋端部にネジ加工を施して取付けた機械式定着の性能評価
〇米田大樹・舟橋政司・吉良拓人・伊藤始・島弘
- (12-4) RBSM解析によるRCループ継手の破壊機構の評価
〇山本佳士・岩田道春・黒田一郎・古屋信明

10:55~11:55 コンクリート構造・橋(2)

座長：牧剛史（埼玉大学）

- (12-5) SD490を用いた高鉄筋比のRC橋脚の耐震性能に関する実験的研究
〇村田裕志・渡辺典男・水谷正樹・小尾博俊・福浦尚之
- (12-6) 高性能繊維補強モルタルのテンションスティフニングのモデル化
〇塩永亮介・佐藤靖彦
- (12-7) アルカリ骨材反応で劣化した構造物の安全性評価の提案
〇松島学・柴北哲也・吉田秀典・横田優
- (12-8) FRPシート曲げ補強した損傷を有するRC梁の耐荷性状に関する数値解析的検討
岸徳光・三上浩・〇小室雅人・栗橋祐介

第2日：4月25日（日）

第1会場：

13:30~14:00 地震工学(2)

座長：一井康二（広島大学）

- (6-1) 常時微動H/Vスペクトルを用いたサイト増幅特性の経験的補正方法に関する研究
長尾毅・〇山田雅行・野津厚

(6-2) 動的相互作用問題への遠心力場ハイブリッド実験手法の適用性

○高橋良和・小寺雅子

14:15~15:15 地中構造・基礎構造

座長：末政直晃（東京都市大学）

(14-1) 鋼管柱基礎の静的水平抵抗特性に関する三次元弾塑性有限要素解析 ○磯部公一・木村亮・大塚悟・秋山耕士郎

(14-2) 土留め掘削時の盤ぶくれ挙動把握に関する計測法について ○小林薫・鶴田稔・松元和伸・熊谷幸樹・近久博志

(14-3) 改良ジェットパイプロ工法で根固め部を築造した杭の支持力特性に関する実験的検討

○石濱吉郎・菊池喜昭・高橋健二・田中隆太

(14-4) 地盤固化体を用いた杭基礎の耐震補強工法に関する3次元FEM解析

○浦野和彦・足立有史・河邑眞

第2日：4月25日（日）

第2会場：

9:00~10:30 橋梁耐震(1)

座長：北原武嗣（関東学院大学）

(7-1) ランダムな繰り返し载荷を受ける鋼製橋脚の延性き裂発生・進展挙動及び照査法の検証

○葛漢彬・藤江渉・岩田勝成

(7-2) 高架橋システムにおける十字型補剛壁を有する鋼製橋脚の耐震性能照査

○山尾敏孝・王占飛

(7-3) 正方形断面鋼製橋脚の水平2方向载荷ハイブリッド実験

○党紀・中村太郎・青木徹彦・鈴木森晶

(7-4) 鋼橋の耐震解析におけるブレース材のモデル化

宇佐美勉・○馬越一也・斉藤直也・野中哲也

(7-5) 東京港臨海大橋（仮称）の耐震設計法について

○齊藤泰・清宮理・日下部治・下迫健一郎・川上泰司

(7-6) 橋梁地震被災度判定手法による被災度の推定精度に及ぼす地盤・基礎構造物および支承の特性の影響

○塚淳一・運上茂樹

10:40~12:10 橋梁耐震(2)

座長：葛漢彬（名城大学）

(7-7) 振動台加震実験によるプレキャストPC橋脚の耐震設計法の開発

山野辺慎一・○曾我部直樹・新井崇裕・運上茂樹・塚淳一

(7-8) RC橋脚の耐震補強に用いるFRP-鋼板接着接合部の付着挙動

○張広峰・星隈順一・塚淳一

(7-9) アラミドロープを用いた既設鉄筋コンクリート橋脚の耐震補強に関する実験的研究

○塩畑英俊・三田村浩・渡邊忠朋・下村匠・丸山久一

(7-10) スマトラ沖地震に伴う津波による橋梁の被害分析

○幸左賢二・二井伸一・庄司学・宮原健太

(7-11) 津波に対する道路橋の被害軽減に関する解析的検討

○薄井稔弘・運上茂樹・杉本健

(7-12) 津波形状の違いによる橋梁への津波作用力に関する実験的検討

○二井伸一・幸左賢二・庄司学・木村吉郎

第2日：4月25日（日）

第2会場：

13:30~15:15 橋梁制震・免震

座長：成行義文（徳島大学）

(8-1) 座屈拘束ブレースの低サイクル疲労実験と照査法

○宇佐美勉・佐藤崇

(8-2) 既設H形ブレース材の制震ダンパー化に関する基礎的実験

○織田博孝・宇佐美勉

(8-3) 繰り返し軸力を受ける高機能座屈拘束ブレースとガセットの面外挙動に関する実験的検討

○渡辺孝一・山口亮太・吉川瑛人

(8-4) 高機能補剛せん断パネルダンパーの繰り返し弾塑性挙動と復元力モデルに関する研究

葛漢彬・○金子恵介・宇佐美勉

(8-5) シリンダー型の制震ダンパーを用いた橋梁の振動台実験

○岡田太賀雄・運上茂樹

(8-6) 鉄道高架橋の変位制限対策による地震時走行性向上に関する研究

○吉田幸司・前田昌克・阿知波秀彦・松浦章夫・岩田秀治・関雅樹

(8-7) 免震高架橋へのノックオフ型サイドブロックの設置効果

○松村政秀・越智内士・吉田雅彦

第2日：4月25日（日）

第3会場：

9:00~10:30 維持管理(1)

座長：井ヶ瀬良則（西日本高速道路）

- (10-1) 塩分捕集器具の設置方向と飛来塩分の関係 ○岩崎英治・小島靖弘・高津惣太・長井正嗣
(10-2) FRP ケーブルの埋め込み緊張補強技術の確立 吳智深・○岩下健太郎・孫曉荷・小林朗
(10-3) 水中施工の可能な FRP を用いた港湾鋼構造物の補強実験 ○立石晶洋・横田弘・岩波光保・加藤絵万・小林朗・戴建国
(10-4) RC ラーメン高架橋鉛直力加速度低減のための基礎補強試験施工の評価 ○東基行・森川昌司・長谷川昌明・松田猛・荒鹿忠義・関雅樹
(10-5) AE 法を用いたオープン型パイプラインに発生する気液二相流の特性評価 ○鈴木哲也・中達雄・樽屋啓之・田中良和・青木正雄
(10-6) 無線センサネットワークによる鋼橋部材の疲労損傷原因の特定を試み 三木千壽・山口浩・○判治剛・田辺篤史

10:40~12:10 維持管理(2)

座長：大西弘志（大阪大学）

- (10-7) 局部損傷を受けた鋼・コンクリート合成床版の部分打換え後の疲労耐久性評価に関する実験的検討 ○櫻井信彰・中山逸人・古市亨・松井繁之
(10-8) Long-term performance of rubber bearing considering solar radiation effect ○Paramashanti・Yasuo Kitane・Yoshito Itoh
(10-9) 支承機能低下が既設鋼合成 I 桁橋の応力に及ぼす影響度について ○山村浩一・出戸秀明・岩崎正二
(10-10) 約 50 年間供用された床版目地を有する連続非合成鋼 I 桁橋の損傷状況と現地載荷試験 村越潤・梁取直樹・○澤田守・前田和裕・西弘明・三田村浩
(10-11) 鋼道路橋の腐食した桁端の耐力特性とその設計法に関する 2, 3 の考察 ○臼倉誠・金銅晃久・山口隆司・畠中彬・三ツ木幸子・橋本国太郎・杉浦邦征
(10-12) 部分係数を用いた海洋環境下にある RC 建造物の耐久信頼性設計 ○松崎裕・秋山充良・鈴木基行

第2日：4月25日（日）

第3会場：

13:30~15:00 維持管理(3)

座長：佐々木栄一（横浜国立大学）

- (10-13) Mechanical properties of fillet weld joints by underwater wet welding in repairing corrosion-damaged offshore steel structures ○Xiao Chen・Yasuo Kitane・Yoshito Itoh
(10-14) 腐食損傷を受けたリベット継手の力学的挙動に関する検討 ○橋本国太郎・山口隆司・三ツ木幸子・杉浦邦征
(10-15) ルートを起点に発生進展するき裂に着目した既設鋼床版の応力解析 ○高田佳彦・田畑晶子・橋本国太郎・杉浦邦征・山口隆司
(10-16) 連鎖的な部材破壊を考慮した鋼橋のリダンダンシー解析法の提案 ○野中哲也・宇佐美勉・岩村真樹・廣住敦士・吉野廣一
(10-17) リダンダンシー解析における鋼トラス橋の引張り斜材破断時の衝撃係数 後藤芳顕・○川西直樹・本多一成
(10-18) 3次元動的解析を用いた鋼トラス橋梁における著大輪重の影響評価 ○田辺篤史・関雅樹・松浦章夫

第2日：4月25日（日）

第4会場：

9:00~10:30 構造力学・構造工学一般(1)

座長：末武義崇（足利工業大学）

- (1-1) 最適化構造概念に基づく新しい応急仮設橋のプロトタイプ技術開発 ○有尾一郎・田中義和・中沢正利・古川祐輔・近広雄希
(1-2) Experimental and analytical study on shear capacity in steel fiber and stirrup RC beam Timoty Nyomboi・Hiroshi Matsuda・Akira Demizu・○Kohei Makino
(1-3) Behavior of bolted/bonded joints in pultruded hybrid CFRP/GFRP composites ○Nguyen Duc Hai・Hiroshi Mutsuyoshi
(1-4) 矢板工法により建設された寒冷地トンネルの覆工内温度応力の理論的検討 ○松尾優子・三上隆
(1-5) 吹付けコンクリートと鋼アーチ支保工の剛性を考慮したトンネル支保剛性の理論的検討 ○大野孝・三上隆

(1-6) 常時微動モニタリングに基づく実大RC橋脚試験体の地震損傷評価 ○永田聖二・金澤健司・梶原浩一・矢花修一

10:40~11:55 構造力学・構造工学一般(2)

座長：水澤富作(大同大学)

(1-7) ゴム材の応力波緩衝効果の推定手法の提案

○難波達郎・木村修一・本間重雄・近藤博

(1-8) レーザー変位計を用いた鋼管状物体の形状の精密計測法の提案

○小畑誠・馮文・後藤芳顕

(1-9) Fatigue durability of trough rib to deck plate welded detail of some orthotropic steel decks

○Ya Samol・Kentarō Yamada・Toshiyuki Ishikawa

(1-10) 新幹線の車両走行安全シミュレーション

○前田昌克・阿知波秀彦・関雅樹・松浦章夫

(1-11) レンガアーチ橋の数値解析モデル化手法に関する基礎的研究

○岸祐介・野坂克義・伊津野和行

第2日：4月25日(日)

第4会場：

13:30~15:00 鋼、木構造・橋

座長：平沢秀之(函館工業高等専門学校)

(11-1) 4径間超長大吊橋の弾塑性挙動と終局強度特性に関する考察

○野上邦栄・大久保亜衣・森園康之

(11-2) アルミニウム合金板摩擦接合継手における鋼製高力ボルトの軸力低下

大倉一郎・○萩澤亘保・長尾隆史

(11-3) A橋タイプの鋼床版バルブリップと横リブ交差部の疲労挙動と損傷対策

○山岡大輔・坂野昌弘・夏秋義広・野中砂男・中川圭正・中村香澄

(11-4) ボルト孔に充填された樹脂が接合部の引抜け性状に与える効果

○今井富士夫・尾上幸造・中澤隆雄・飯村豊

(11-5) 歩道橋用木製防護柵の基礎的研究

○千田知弘・佐々木貴信・薄木征三・後藤文彦・篠原義則・豊田淳

(11-6) 静的および動的載荷試験に基づく木歩道橋の劣化診断

○出戸秀明・岩崎正二・五郎丸英博・山村浩一